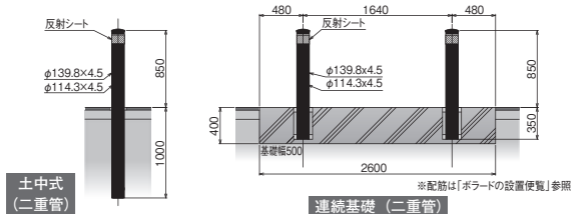


### H型ボラード 日鉄神鋼建材（株）

交差点の歩道で待機する歩行者等の保護対策に対するニーズの高まりを受け、開発された耐衝撃性ボラードです。

標準的な信号交差点で発生する右折車と直進車の衝突事故を想定した種別選定ができます。

#### 形状（例：H<sub>B</sub>種）



#### 種別の適用

種別	道路設計速度	防護柵種別	衝突速度	対象車両質量
H <sub>C</sub> 種	50km/h以下	C種	35km/h	1.8t
H <sub>B</sub> 種	60km/h	B種以上	45km/h	

#### 種類

種別	建込	記号	支柱 厚さ×外径×長さ (mm)	参考 質量 (kg/本)
H <sub>C</sub> 種	土中式	HCBLD-E	4.5×114.3×2,250	28.0
	独立基礎	HCBLD-C	4.5×114.3×1,150	14.5
	連続基礎	HCBLD-W	4.5×114.3×1,100	13.9
H <sub>B</sub> 種	土中式 (二重管)	HBBLD-E	4.5×139.8×1,850	50.2
	連続基礎 (二重管)	HBBLD-W	4.5×139.8×1,200	31.7

注)「参考質量」は塗装仕上げ後の質量です。

### H型ボラードと車両用防護柵の使い分け

ガードパイプ等車両用防護柵は、H型ボラードと比べると強度的に有利で、衝突後の車両誘導性に優れ、二次被害のおそれが少ないとされています。そのため基本的には車両用防護柵の設置を優先すべきであり、H型ボラードは、車両用防護柵を連続的に設置できない交差点開口部等に設置するのが適切とされています。

#### ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものを除き、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ所有者の商標または登録商標です。